

2018 - 19年度 RI テーマ



インスピレーションになるう

Rotary International  
国際ロータリー会長  
バリー・ラシン



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

新しく生まれ変わろう  
ークラブネッサンス

第2660地区  
八尾東ロータリークラブ  
YAO EAST ROTARY CLUB  
●創 立：1973年2月23日  
●会 長：品川 芳洋  
●幹 事：堀内 伸也  
●会報委員長：高岡 正和

今週のプログラム

第2201回例会

- ① 開会 点鐘
- ② ソング 「クラブソング」
- ③ ビジターの紹介
- ④ 会務報告  
「会長の時間」「幹事報告」
- ⑤ 委員会報告  
「出席報告」「各委員会」「ニコニコ報告」
- ⑥ 「ロータリーの友」紹介  
浅井 寿徳広報・雑誌委員長
- ⑦ 卓話「忘れてはならないポリオ」  
地区ロータリー財団委員長（八尾中央RC）  
福家 宏氏
- ⑧ 閉会 点鐘

★例会前：11月度定例理事会

来週の予定

第2202回例会 11月16日(金)

- ☆卓話なし
- ☆第3回クラブフォーラム  
社会奉仕委員会部門  
中澤 剛社会奉仕委員長

前週の例会記録

2018年11月2日(金)

出席報告

例会数	会員数	出席数	出席率	備考
第2200回	27名	17名	77.3%	出席義務免除 7名(出2)
第2198回	27名	25名	96.2%	補 填 7名

ニコニコ箱

- 山本ガバナー及び市村地区幹事様お忙しい中、当クラブにお越しいただき、ありがとうございます。  
品川 芳洋会員
- ①山本ガバナー公式訪問ありがとうございます。  
②結婚記念日、誕生日は同じ日です。ありがとうございます。  
鈴木 洋会員
- 山本ガバナー公式訪問、御指導よろしくお願ひします。  
野球同好会の皆さん、選抜野球大会ホスト御苦労さまでした。  
池本 繁喜会員
- RI第2660地区ガバナー 山本博史様、地区幹事市村優次様、本日は遠路公式訪問御来訪ありがとうございます。  
桑田 タア子会員
- 山本ガバナー様、市村地区幹事様、ご来訪ご苦労様です。御指導よろしくお願ひ致します。  
奥田 長二会員
- ガバナー 山本博史様公式訪問有難うございます。  
森下 慶治会員

★例会場：LINOAS（リノアス）8階 バンケットルーム 〒581-0803 大阪府八尾市光町2丁目60番

★例会日時：毎週金曜日12時30分

★事務所：〒581-0803 大阪府八尾市光町2丁目60番 LINOAS（リノアス）8階 TEL:072(997)0626 Fax:072(997)2620

★http://www.yaohigashi.org/ E-mail:yaohigashi@japan.email.ne.jp

●山本ガバナー、市村地区幹事、ご訪問ありがとうございます。よろしく御指導して頂きますようお願い致します。 石川 義一会員



11月結婚記念日祝  
鈴木会員・陣田会員

●今回合計 13,000円

●累計 270,000円



11月誕生月祝  
鈴木会員

## 会長の時間

今日は山本ガバナーの公式訪問の日。貴重な機会です。ので有意義な例会になることを願っています。

親睦と奉仕を世界的な規模でロータリークラブが展開する一方で、世界各地には様々な地域紛争が規模の大小を問わず日常的に発生しています。

2015年6月にシリアの紛争を現地で取材中に武装勢力に身柄を拘束されていた安田純平さんというフリーのジャーナリストが先日、約3年後に解放され日本に帰国。今朝10時から東京のプレスクラブにて記者会見が行われます。

危険なところに単身乗り込んで取材するという勇気を称える一方、勝手に危険なところに行った自己責任を問うバッシングと、社会には相反する二つの見方があります。

みなさんはどちらを支持されるのでしょうか？

ジャーナリストの受難について、つい最近ではトルコのイスタンブールのサウジアラビア総領事館で殺害された同国のハシヨギ氏の凄惨な事件が生々しく伝えられました。

数年前にはロシア絡みでモスクワやロンドンで反権力の立場の人たちが暗殺され、国家権力の関与が疑われています。恐ろしいことです。

2015年にはモハメッドを風刺したとしてパリで起きた風刺新聞社『シャルリー・エブド』本社襲撃事件は、まだ記憶に残っています。

興味あるのは、これらジャーナリズムの受難に対する日本とヨーロッパでの世論の反応の違いです。

エブド本社襲撃の時は、フランス国内でも同社の行き過ぎた風刺を非難する世論がある反面、暴力に対する抗議デモが大規模に展開されました。一方、日本では30年前、朝日新聞阪神支局が襲撃され記者殺害事件には、マスコミ等では事件を非難・抗議することがあっても社会が面となって抗議運動が起こるまでに到らなかったように記憶しています。

今回の安田純平さんのように武装勢力に不法に拘束されたジャーナリストが解放されて国に帰還する際には「英雄」扱いになるようです。

## 幹事報告

### 【配布物】

- ①週報
- ②ガバナー公式訪問資料

### 【回覧】

- ①ガバナー月信11月号

### 【連絡】

- ①次週11/9（金）より例会変更の件（時間・場所）

以上

## 卓話

### 「ガバナー公式訪問に 寄せて」

R I 第 2660 地区

ガバナー 山本 博史氏  
(大阪南 RC)



#### 1 はじめに

ロータリーの主役は各クラブであり、また一人一人のロータリアンです。このことに異論はないと思います。しかし、ロータリー活動が全世界的なものである以上、各地区の特性を活かしつつも、皆がロータリーの目的に向かって足並みをそろえる必要があります。国際ロータリー（以下「RI」と略称）はロータリー全体を管理するための組織であり、その管理のために各地区に派遣されているのがガバナーです。この度、貴重な機会をいただきましたので、RIの方針、今RIで議論されていること、そして当地区の方針についてお話させていただきます。

#### 2 本年度のRIのテーマと目標

本年度バリー・ラシン会長（以下「ラシン会長」と略称）のテーマは「BE THE INSPIRATION～インスピレーションになろう～」です。インスピレーションという言葉は、ひらめき、思いつきといった意味だけでなく、周りの人々に生気を与える、息吹きを吹き込むという意味があります。

ラシン会長は本年6月のトロント国際大会のスピーチで「私達は手を取り合います。なぜなら協力すれば一人よりもずっと強くなれると知っているからです。私達は行動します。なぜならロータリーは夢想家ではなく、実行する人の集まりだからです。」と語りました。トロント国際大会でよく見かけた三つの標語「TRANSFORM…変えていこう」「PEOPLE OF ACTION…世界を変える行動人」「CONNECT…ちからをつなごう」は、このラシン会長のスピーチのエッセンスです。

この「インスピレーションになろう」というテーマはラシン会長の独創ではありません。ロータリーの根幹ともいべき「ロータリーの目的」（RI 定款第4条、標準ロータリークラブ定款第5条参照）を踏まえ、RIが2010年に策定したロータリー戦略計画の「ロータリーの使命」や「中核的価値観（コア・バリュー）」、そしてRI理事会が2017年7月に策定した「ロータリーのビジョン：私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。」等、これまで積み重ねてきたものの実践を働きかけるものです。

ラシン会長は、本年度のテーマを実現するため、「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」という三つの優先項目を具体化する11の目標を打ち出しました。また、目標として掲げられていませんが、ラシン会長はトロント国際大会の閉会式のスピーチでローターアクトを重要視し、その数の倍増を求めました。もっとも、このローターアクトについては、海外と日本とでは、RACのおかれる状況が異なることもあり、当地区の実情にあったRACのあり方を検討し、提案するに留めるつもりです。

RIが今後目指す方向については、①ポリオ撲滅の早期実現、②会員増強と会員の高齢化ストップ、③ロータリー財団の拡大、④公共イメージと認知度の向上、⑤ポリオ撲滅後のテーマの模索と、より強力なパートナーとの協力関係の構築の5項目がキーワードとなります。この点については、今後もできるかぎり皆様と情報を共有化していきたいと思えます。

#### 3 2660地区のビジョンと本年度の方針

最近のRIの方向性をふまえ、我々2660地区の歴史、価値観、組織風土を大切にしながら各クラブが、そして地区が発展していくよう、片山ガバナー一年度、本年4月に以下の地区ビジョンを策定し、また

2017-18 年度から 2021-22 年度に適用する地区中期 5 力年目標を列挙しています。紙幅の関係上、地区中期 5 力年計画は割愛しますが、重要な目標ですので、地区ウェブサイト等で是非ご確認ください。

■私たち第 2660 地区は RI テーマを理解し、地域の特性にあった活動を行うことにより具現化します。

■ロータリーの原点である親睦と職業奉仕を根幹とし、世界及び地域社会で良い変化を生み出します。

■それぞれが「魅力ある・元気ある・個性ある」クラブになる事を目指します。

ラシン会長が掲げるテーマや目標、そして前記 2660 地区のビジョンを踏まえ、本地区の本年度の方針は以下の 10 項目です。

- ①ポリオ撲滅への協力をお願いします。
- ②ロータリー賞の受賞を目指してください。
- ③ロータリー財団と米山記念奨学会への協力をお願いします。
- ④会員基盤を強化してください。
- ⑤ロータリーの IT 化への協力と公共イメージ向上へのチャレンジをお願いします。
- ⑥戦略計画を活用し、クラブの中長期ビジョンを策定してください。
- ⑦新 IM 内の親睦と情報交換を推進してください。
- ⑧ハンブルク国際大会、地区大会、地区事業への積極的な参加をお願いします。
- ⑨ロータリーデーにご参加ください
- ⑩地区のスリム化、効率化、運営の合理化、財務ルールを徹底します。

いずれも行動、実践をとまなうものであり、皆様の積極的な活動を期待します。

最後に、本地区のクラブ運営のあり方ですが、2016 年の規定審議会で運用ルールが大幅に緩和されたことにより、ネットで例会を行うクラブの名称から「E」という文字が消え、他の一般のクラブと同じ位置づ

けとなりました。世界では、ロータリアンの自宅やコーヒーショップを例会場とする、ある企業や家族の一員であれば例会に参加できるというクラブも現れています。例会に出席するために長時間の移動が必要、あるいは人の活動範囲が広がり、同時刻に同じ場所に集まることが難しいという人たちもいます。他方、ジェネレーションギャップとでも言うべき現象も起こっています。聞くところによると、ある新しいクラブの若い会員が、東京 RC の帝国ホテルでの例会に短パンでメイクアップに来たということです。この珍事に、大半のロータリアンは常識と TPO の問題だと考えると思いますが、中には、それもダイバーシティだと言う方もいます。日本のロータリーの今後の発展を考えると、他人事として済ませてしまうのではなく、自分達自身の問題として真剣に考え、我々の意見をはっきりと述べていく必要があるのではないのでしょうか。

末尾になりましたが、会員皆様の益々のご発展とご健勝をお祈りし、ガバナースピーチとさせていただきます。ご静聴ありがとうございました。



日本のロータリー100周年を祝う鐘